

| | | | | |
|-------|----|--|----|------|
| モラル | 1 | 法人の理念を理解・共感し、それに基づいて行動していますか | 65 | 389 |
| | 2 | 「職員の心遣い」を理解し遵守していますか | 65 | |
| | 3 | 就業規則に基づき、上司の指示・命令に気持ちよく従い、職場の秩序の維持に努めていますか | 65 | |
| | 4 | 自己の健康を管理し、維持及び回復に努めていますか | 60 | |
| | 5 | 園児や保護者に関する個人情報、法にのっとり適性に取り扱っていますか | 68 | |
| 保育・教育 | 6 | 保育者の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚して関わっていますか | 66 | 64.8 |
| | 7 | 乳幼児期の保育・教育は生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われることを理解していますか | 65 | |
| | 8 | 「生きる力」＝「認知能力」＋「非認知能力」を理解していますか | 59 | |
| | 9 | 0歳（入園）から就学までの一貫した発達の連続性を考慮して、保育・教育をしていますか | 61 | |
| | 10 | 保育・教育内容についてPDCAサイクルで質の向上に努めていますか | 58 | |
| 養護・配慮 | 11 | 環境構成を意識した保育・教育や過程を常に工夫していますか | 61 | 433 |
| | 12 | 行事等保育の内容について利用者アンケートの結果等や反省をもとに改善に努めていますか | 62 | |
| | 13 | 子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して保育していますか | 67 | |
| | 14 | 発育状態・健康状態、家庭（生活）環境などを配慮し育ちを養護していますか | 65 | |
| | 15 | 子どもの表情や姿をよく観察し、適した温かい言葉がけをするよう心掛けていますか | 67 | |
| 保護者 | 16 | 不適切な養育の兆候が見られないか、日々子どもや保護者の様子に留意していますか | 61 | 379 |
| | 17 | 食物アレルギーを持つ子や特別な配慮を必要とする子など個々に応じて対応していますか | 66 | |
| | 18 | 子どもが自分で考え、自分で行動する体験ができるような生活や遊びを心がけていますか | 58 | |
| | 19 | 時には我慢したりするなど、子どもが折り合いをつける体験を大切にできるよう配慮していますか | 62 | |
| | 20 | 保護者の状況（生活・環境）を配慮して関わっていますか | 61 | |
| リスク | 21 | 子どもの様子や活動の説明等を通じ保護者との相互理解に努めていますか | 62 | 366 |
| | 22 | 親しみやすい雰囲気心がけ、保護者に対し積極的に声をかけていますか | 60 | |
| | 23 | 意見や提案については先ず肯定的に受け止め、上司に報告する等適切に対応していますか | 60 | |
| | 24 | 保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になれるよう心掛けていますか | 60 | |
| | 25 | 園児及び保護者との対応には、公平さを欠かさないようにしていますか | 63 | |
| 研修・研鑽 | 26 | 施設・設備の安全点検を計画的に行っていますか | 61 | 63.2 |
| | 27 | 施設内外の異常やリスクに対し、報告等適切に対応していますか | 66 | |
| | 28 | 子どもたちの生活環境の衛生管理に留意し保持に努めていますか | 64 | |
| | 29 | 災害・不審者侵入等緊急時における自分の役割を理解し実践に移せるよう努めていますか | 61 | |
| | 30 | 感染症などが発生若しくは発生が疑われる時は、マニュアルに沿って対応していますか | 65 | |
| 研修・研鑽 | 31 | 子どもたちの日々の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育に努めていますか | 67 | 61.0 |
| | 32 | 計画に沿った研修に参加し成果を日常の保育に活かし、子どもの育ちに反映させていますか | 59 | |
| | 33 | 研修会等には事前にその内容を確認し、自己課題をもって参加していますか | 60 | |
| | 34 | 研修に参加したり専門書を読む等して様々な知識を習得したり技能の向上に努めていますか | 61 | |
| | 35 | 活動の目標（ねらい）をクラス（園）で検討し、共通の理解を図っていますか | 60 | |
| | 36 | 自己評価等で課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽していますか | 60 | |
| | 37 | 自らの保育・教育実践について、同僚、上司から意見を聴くよう努めていますか | 65 | |

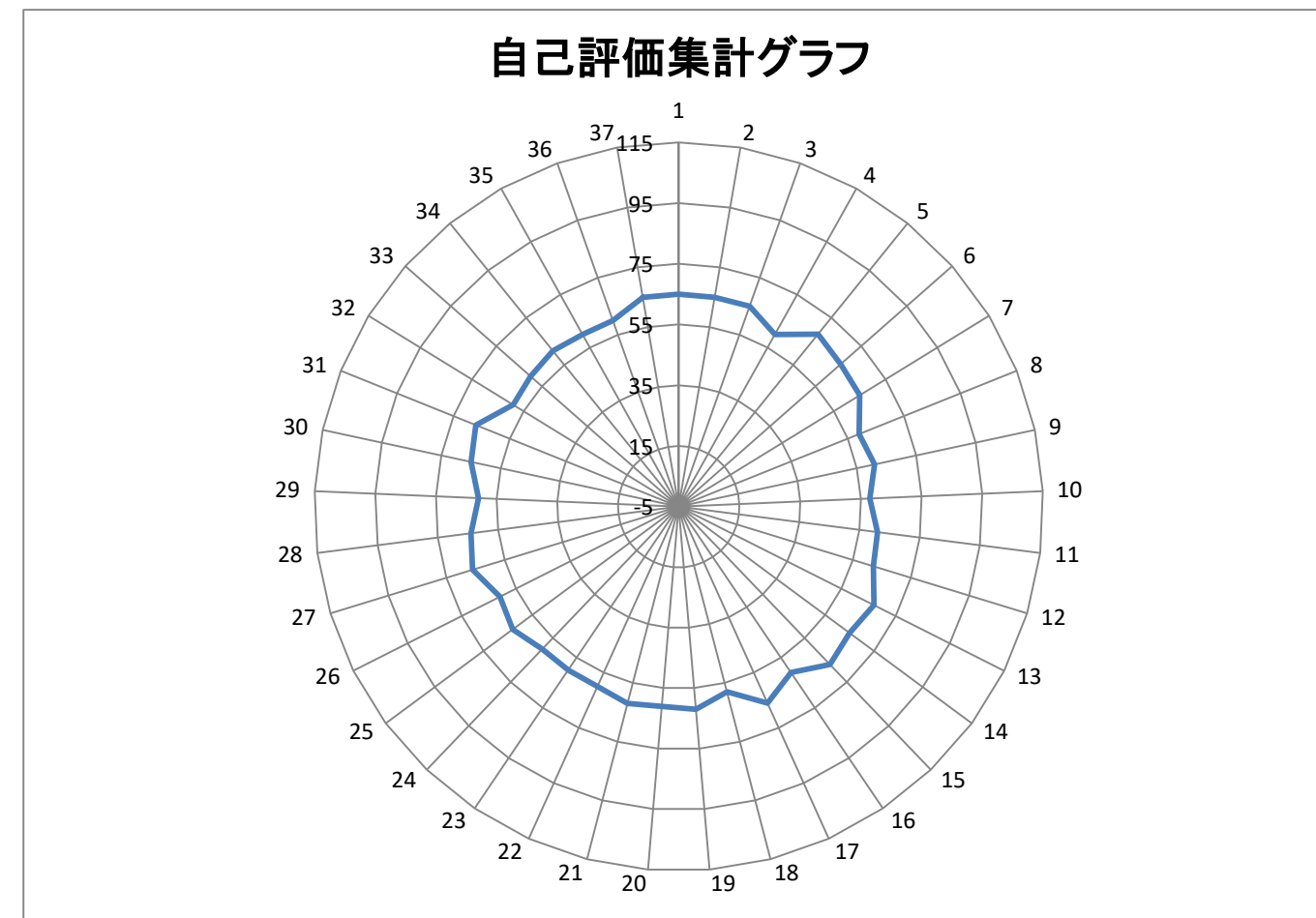
S：役割以上の業務を完了し園の評価を上昇させた A：役割以上の業務を遂行した B：支障なく十分に行われた C：多少のミスや課題はあるが業務は遂行された D：業務に支障をきたし、園の評価を低下させた

<傾向> 全体の項目平均 62.7pt

全項目中、最低ポイントが58pt最高ポイントが68pt。仮に全員が全項目にB評価すると63ptとなる。全体の平均が62.7ptという事はB評価が主といえる。前回までの自己評価に比べ抑揚が無く、厳しい結果となっている。コロナ禍先行きの見えない状況下、保育者も不安を抱きながら子供たちに最良の保育・教育を与えるために自分の保育を見直した結果と推測する。又制約の多い中、実践できない活動やリモートでの研修課参加等、今まで経験したことが無く評価に苦しんだ結果の「B評価」とも推察します。

「モラル」グループ平均64.8ptと前回同様グループ平均は一番高くなっています。「自己の健康を～」項目は低く評価しています。新型コロナ予防を過剰に反応しての評価と考えます。「保育～」グループ平均62.3pt。「保育・教育内容～」項目については、実践できなかった保育・教育に対する反省と捉えます。「養護・配慮」グループ平均63.2pt。「子どもが自分で考え～」項目は限られた保育の提供を反省しての低い評価と考えます。半面「子どもの表情や姿を～」項目に関しては、感染症予防に特段の配慮、気配りを心掛けた結果の評価と考えます。「保護者」グループ平均61pt。「親しみやすい～」「意見や提案～」「保護者が～」の3項目に関しては、原則保護者との関わりが持てない中での低い評価と捉えます。「園児及び～」項目はそのような環境を意識した事の表れと考えます。「リスク」グループ平均64pt。「子ども達の日々の～」項目は、新型コロナ予防のため例えば検温・視診の徹底等健康状態の観察の強化を反映しての評価と考えます。「研修・研鑽」グループ平均60.8pt。グループ平均が一番低くなっています。密を避けるため、研修会自体が中止となり、リモートでの参加も限られたための結果と捉えます。

めぐみ野こども園 <園全体>



<対策>

- 新しい生活様式に則り感染症予防はもちろんのこと、まずは「うつらない」健康を維持する。心身的に余裕を持てるよう園全体での配慮が必要となる。ワークライフ・バランスを意識し、負担が偏らないよう仕事量・質を見直し構成していく。書類・様式・整理（収納方法・場所）の簡素化を一層図る。
- 限られた保育・教育の提供の中で、保育・教育力の向上に向け子どもたちの「楽しみ」を第一に考える。押しつけややらせではなく子どもたちのアクティブ・ラーニングが更にアップできるよう”記録”を基に試行錯誤を繰り返しながら、チームでかかわる習慣を醸成する。
- 保育教育内容についてPDCAサイクルで質の向上につなげる為。職員会議のクラスからの報告にて具体的な事例をあげて報告を行っている。他クラスの職員からも、保育を見てもらいながらアドバイスを受け向上につなげていく。
- 新しくなった園庭、遊びを提供するのではなく発見する楽しみを保育者自身も意識して関わる。使い方、ルール等守るべき事に関しては職員全員で予め周知徹底を図る。
- 昨年度末の利用者アンケートで「やや不満」が付いていた職員の挨拶等保護者対応の向上に向け、一人一人がお互いの所作を観察し意見しあいながら改善に努める。マスクを着用していても「親しみやすい雰囲気」が伝わるよう笑顔と多少のオーバーアクションで挨拶等努める。
- リスク対応のはじめとして「ヒヤリハット報告」の充実を進める。件数の減少を素直に反省し、記入の徹底を図る。記入し易く整理しやすい様式の改善に努める。又、マニュアルの見直し簡素化も進め実践に即したものに變更していく。
- コロナ禍、参加の機会が少ない研修会。オンライン研修を全員で体験し、今後の開催に備えていく。研修計画も保育3団体等からの情報をその都度更新し参加の有無を選別していく。